

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年12月28日

計画の名称	(妙高市)重点道の駅「あらい」拡充整備事業												
計画の期間	平成30年度 ~ 平成32年度 (3年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	妙高市												
計画の目標	交流人口の増加、地域産業の振興を目的とした観光交流拠点、重点道の駅「あらい」への安全安心なアクセスを実現する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	134	A	134	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値	最終目標値 (H32末)
1	拡充整備後の重点道の駅「あらい」への入込数 320万人 重点道の駅「あらい」の入込客数を測定する	288万人	万人	320万人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	妙高市	直接	妙高市	市町村	新設	(仮)東長森道の駅線	道路新設	妙高市						134	-	
											小計						134		
											合計						134		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 妙高市（観光商工課）	事後評価の実施時期 令和3年（令和3年1月～令和3年12月）
	公表の方法 インターネット（市のホームページに掲載）
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年に重点道の駅に選定され、年間288万人が訪れており、今後の交流人口の増加と地域産業の振興を目的とした観光拠点を創出するため、国土交通省とともに拡充整備を実施した。</li> <li>・拡充エリアへのアクセス道路の整備が完了したが、新型コロナウイルスの感染拡大等の影響により入込数が減少し、最終目標値を下回る結果となった。</li> <li>・拡充整備後、毎月イベントを開催し、令和3年からは防災芝生広場にバーベキューエリアを設けるなどにより、一定の入込数の確保が達成できたと考えている。</li> <li>・令和3年6月には防災と災害支援活動の広域的な拠点である「防災道の駅」として全国39ヶ所のうち新潟県では唯一選定され、また、令和4年3月には災害時において広域的な災害応急対策を実施するための拠点となる「防災拠点自動車駐車場」としても選定された。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災道の駅として、拡充エリアに整備された防災機能等を広く知らせることが求められている。</li> <li>・利用者アンケートでは、道の駅の既存エリアから拡充エリアへのアクセス方法がわかりづらい等の意見が寄せられた。</li> <li>・このことを踏まえ、防災機能等を活用したイベントを開催するとともに、アクセス方法の改善等に取り組み、道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供及び地域の振興を推進する。</li> </ul>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	320万人
	最終実績値	194万人
	拡充整備後の重点道の駅「あらい」への入込数 ・イベント等を開催し入込数の増加に取り組んだが、新型コロナウイルス感染症拡大及び豪雪等の影響により入込数が減少し、最終目標値を下回る結果となった。引き続き入込数の増加に向けて対応していく。	